

③岩美海岸(陸上地区) 【航空写真】

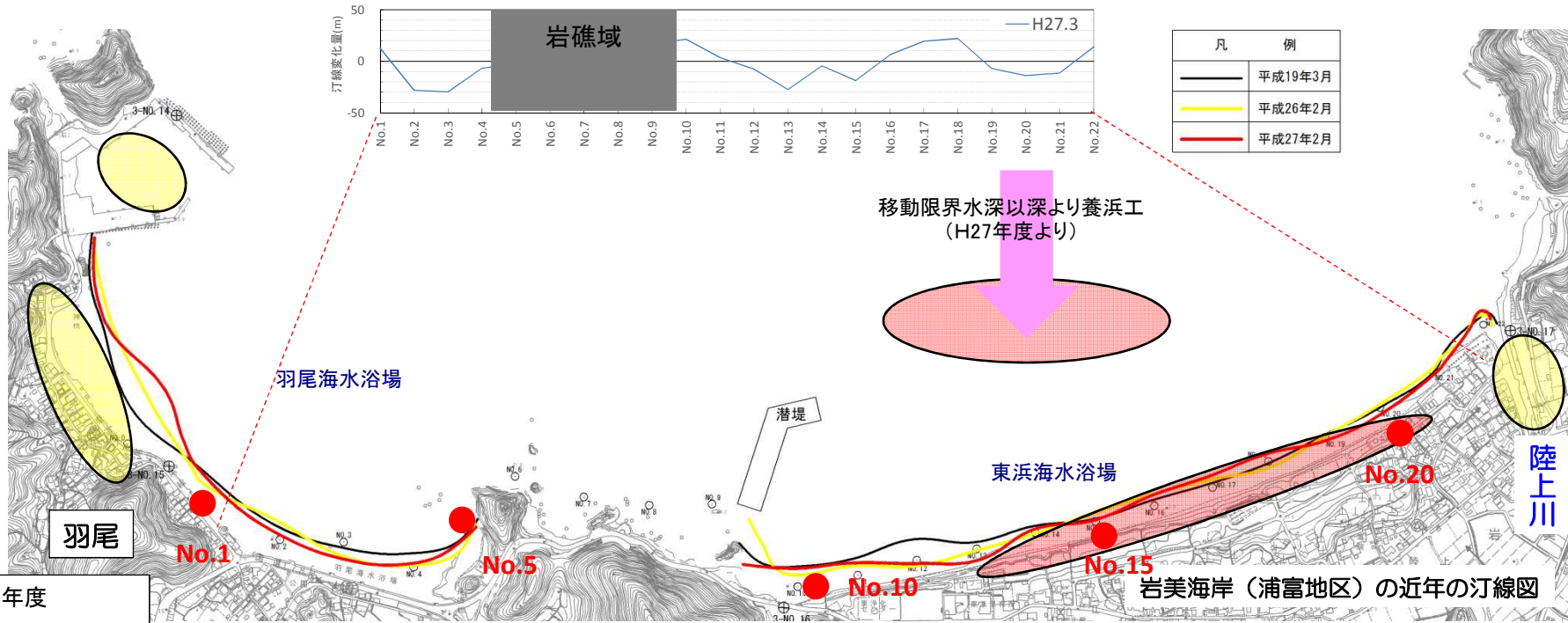
平成27年10月5日撮影 航空写真



③岩美海岸(陸上地区) 【評価分析・方針】

説明資料 2-1~2-4参照

岩美海岸(陸上地区)の汀線変化状況図(平成20年3月基準)



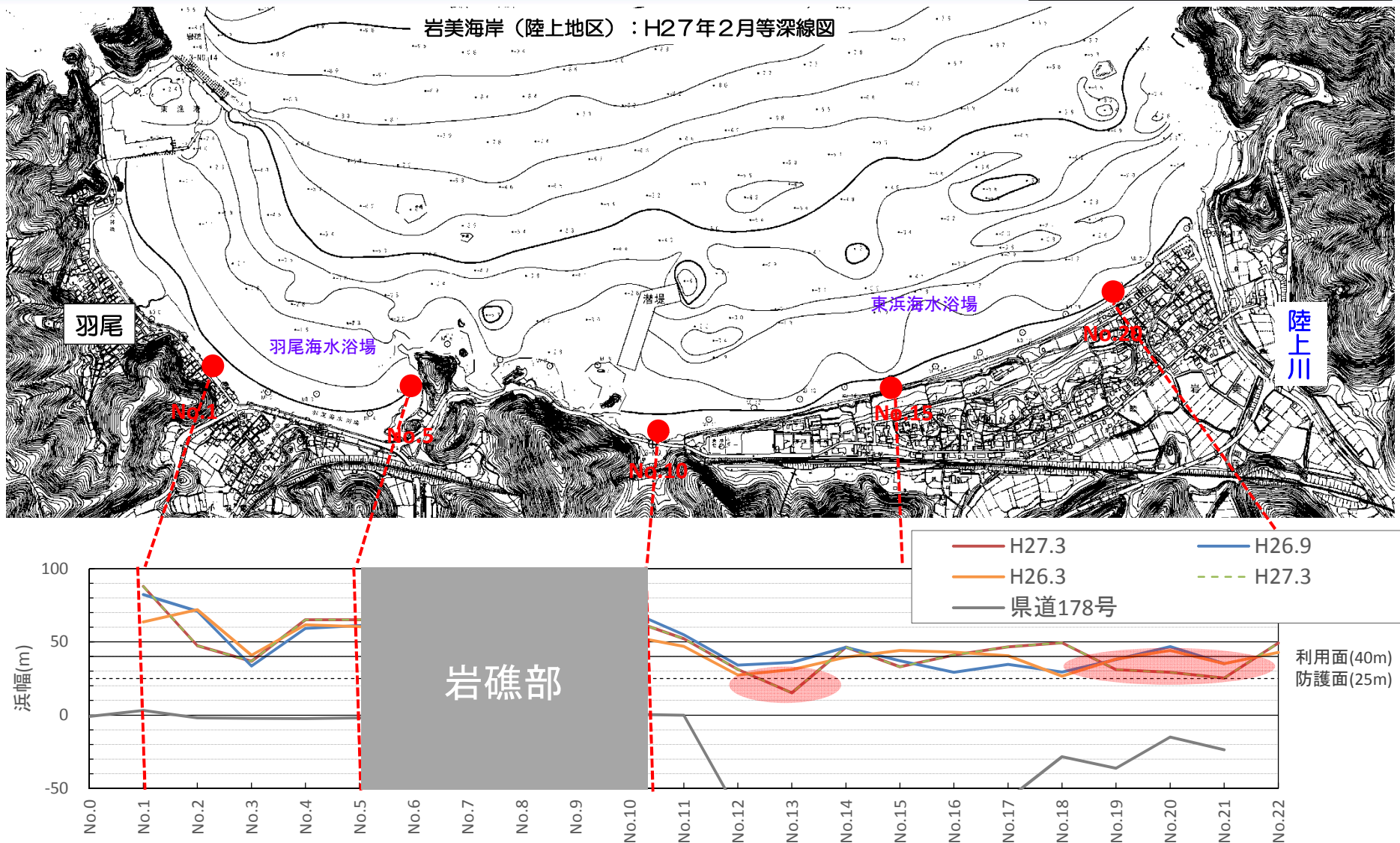
H26年度
 ● : 採取位置
 ● : 投入位置

長期的な変化 (H20→H27)	継続的にサンドリサイクルの実施しているところであるが、汀線は後退傾向。
過年度の対策 (H20~H27)	サンドリサイクル
本年度の対策 (H27)	サンドリサイクル、養浜工(移動限界水深以深より運搬)
短期的な変化 (H26→H27)	サンドリサイクルにより、汀線位置は概ね維持。浜崖が冬季風浪により進行。
来年度の対策予定 (H28)	サンドリサイクル、養浜工(10,000m ³)

- H21~26年度 サンドリサイクル量32, 166m³ (年平均 6, 433m³)
- H26年度、冬季風浪により浜崖拡大。
- 養浜工 (H27年度~29年度、計30, 000m³) にて海上養浜をし、汀線回復を図っていくとともに、毎年のサンドリサイクルにて浜崖部への対応を行っていく。

③岩美海岸（陸上地区）【目安とする浜幅分析】

説明資料 2-11参照



- 利用 …… 海水浴場としての利用があり、幅不足箇所は引き続き注視が必要
- 防護 …… 汀線後退傾向の箇所がみられるため注視が必要。

④千代川左岸 【航空写真】

平成27年10月5日撮影 航空写真

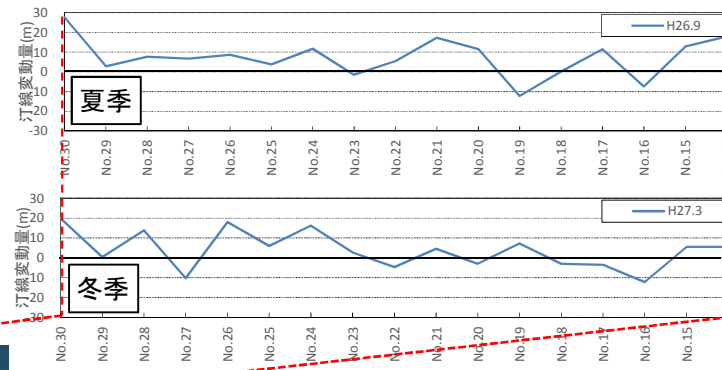


平成25年12月撮影

④千代川左岸【評価分析・方針】

説明資料 5-1～5-6参照

千代川左岸の汀線変化状況図



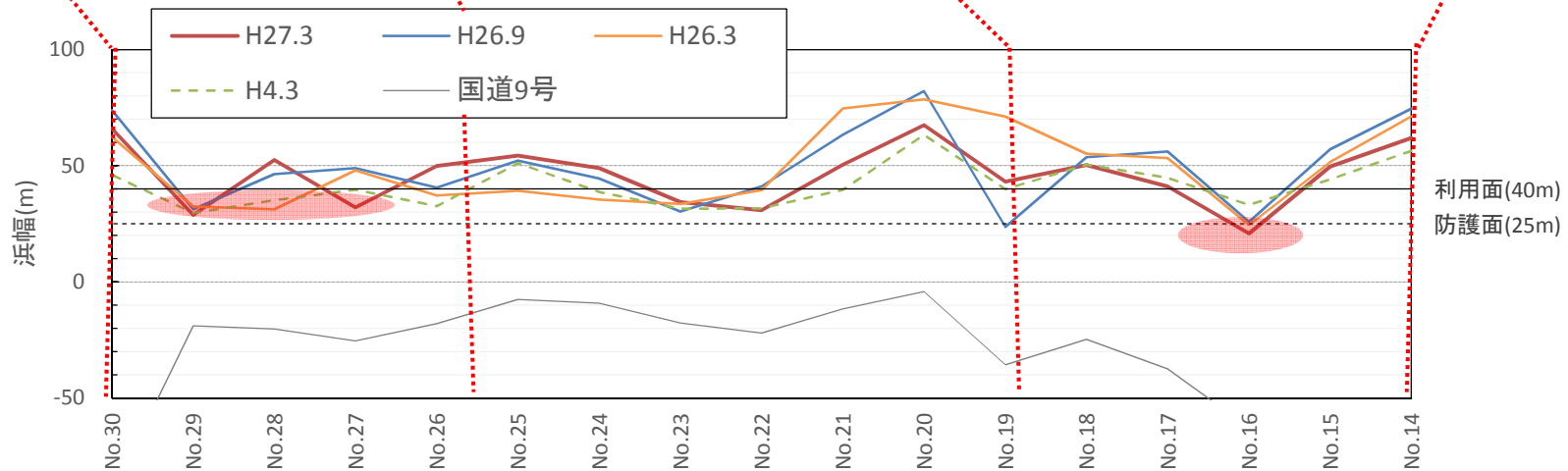
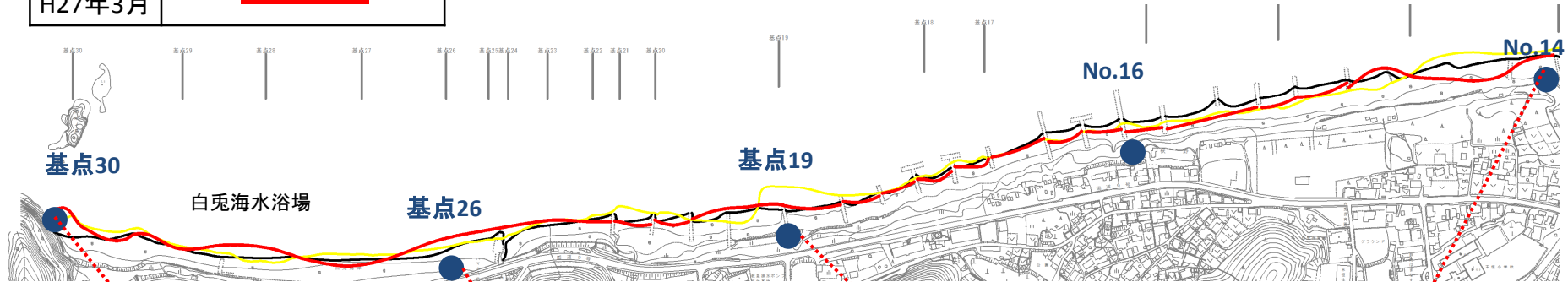
	① (白兎海岸・伏野海岸)	② (鳥取空港)
長期的な変化 (H4→H27)	一時的な局所侵食は見られるが、汀線は安定傾向	安定傾向
過年度の対策 (H4～H27)	モニタリング (汀線・深淺測量)	—
本年度の対策 (H27)	モニタリング (汀線・深淺測量)	—
短期的な変化 (H26→H27)	局所的な侵食は見られるが、汀線は安定傾向	安定傾向
来年度の対策予定 (H28)	モニタリング (汀線・深淺測量)	

- 平成25年12月に浜崖発生。
- 汀線が安定傾向のためサンドリサイクルは実施されていないが、局所的な侵食・浜崖がみられるため引き続きモニタリングを実施。

④千代川左岸 【目安とする浜幅分析】

説明資料 5-7参照

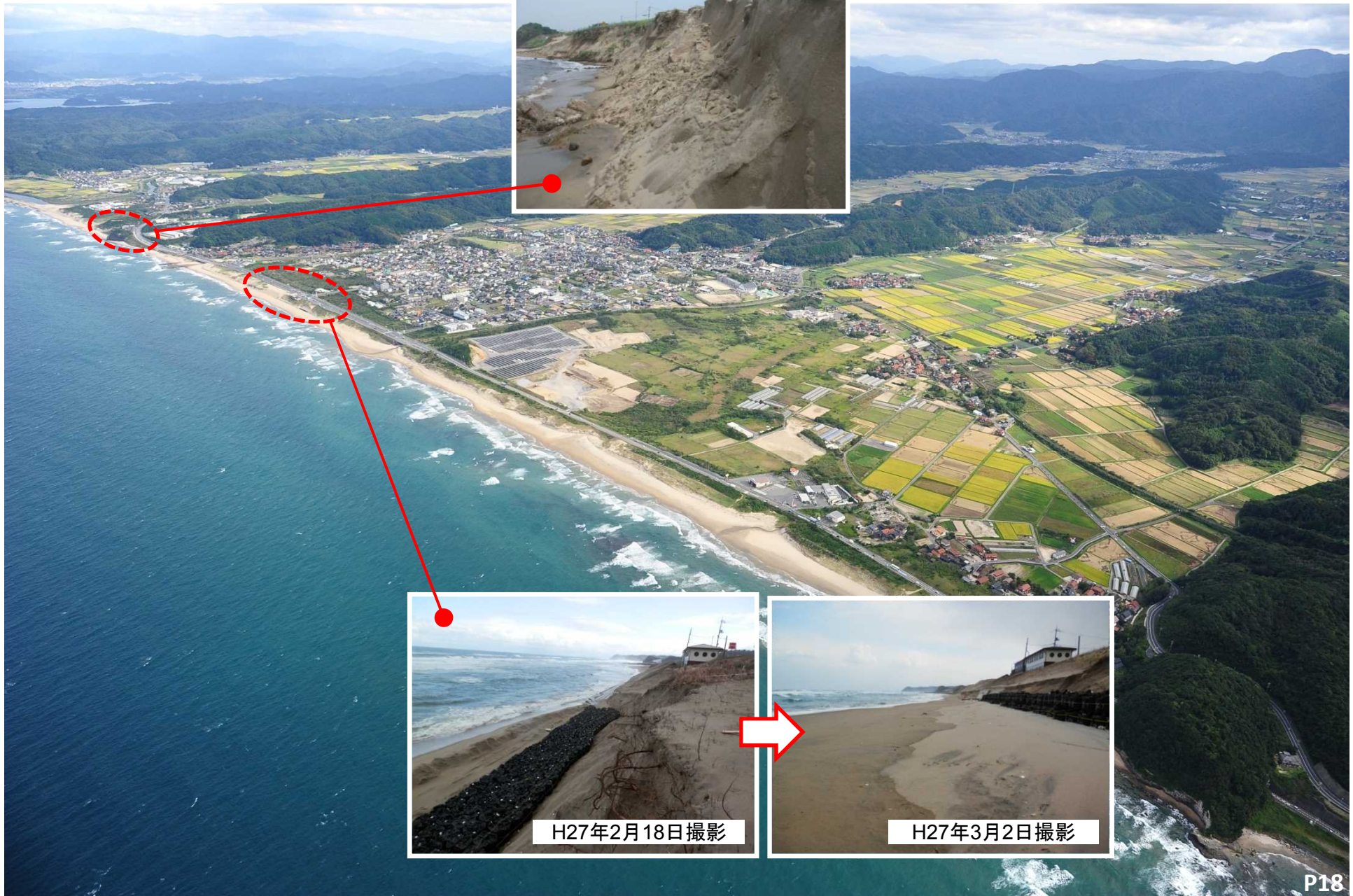
H 4年3月	— (黒線)
H26年3月	— (黄線)
H27年3月	— (赤線)



- **利用** ... 海水浴場としての利用があり、浜幅には注視が必要
- **防護** ... 概ね浜幅は確保されているが、局所的に汀線後退箇所みられるためサンドリサイクルを見据え、注視が必要。

⑤気高海岸 【航空写真】

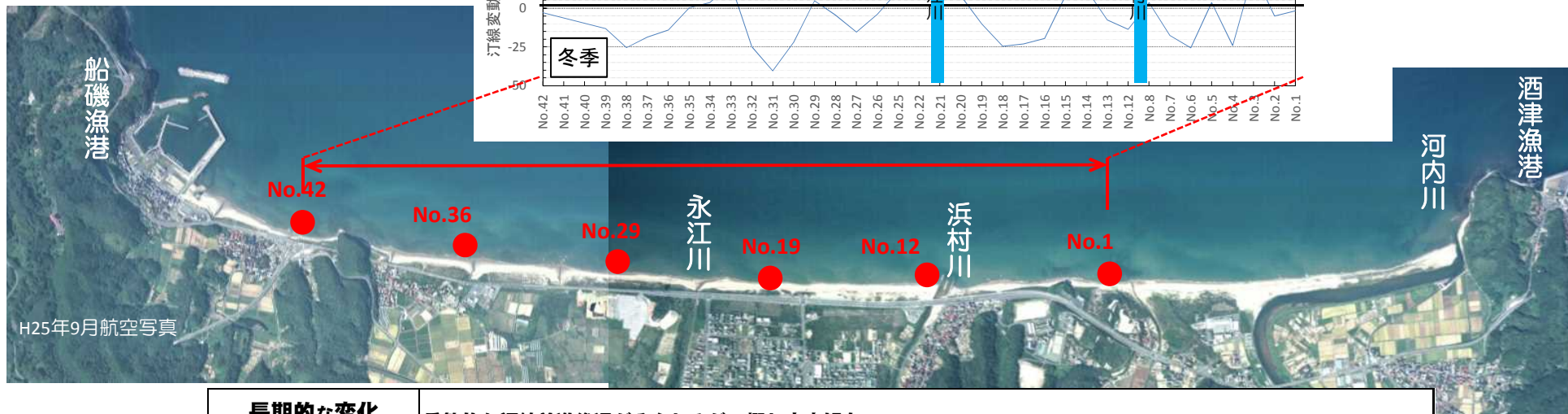
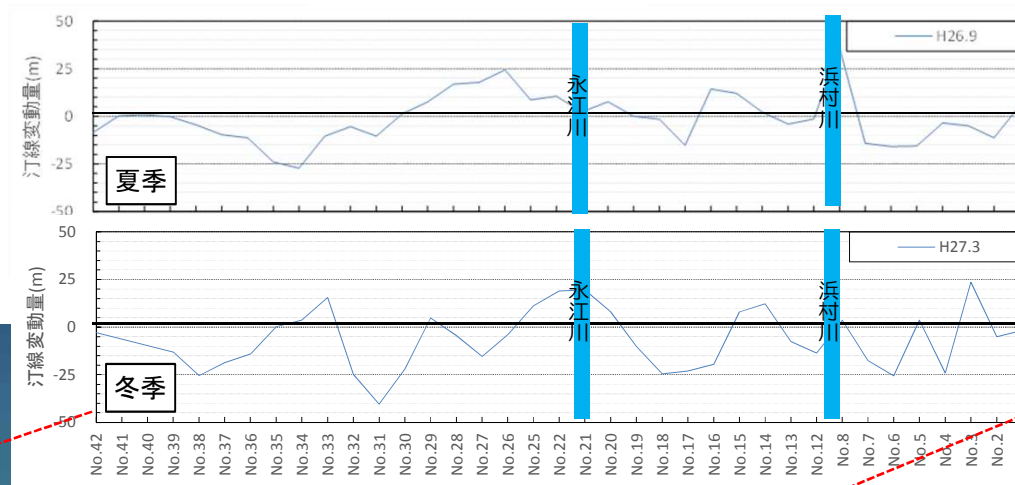
平成27年10月5日撮影 航空写真



⑤気高海岸 【評価分析・方針】

説明資料 6-1～6-5参照

気高海岸の汀線変化状況図



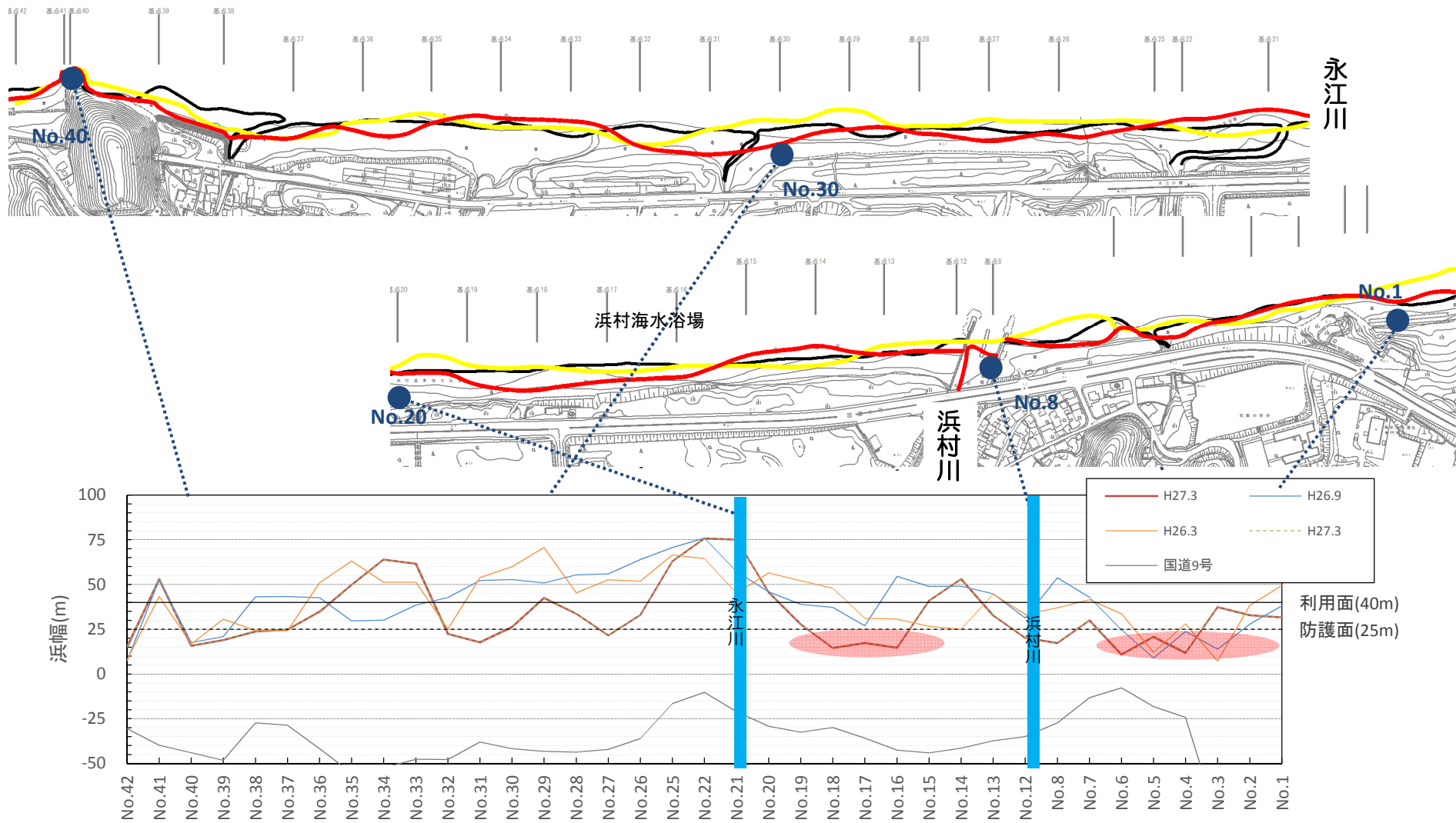
長期的な変化 (H14→H27)	季節的な汀線前進後退がみられるが、概ね安定傾向。
過年度の対策 (H14～H27)	サンドリサイクル
本年度の対策 (H27)	サンドリサイクル (永江川、浜村川、河内川、船磯漁港)
短期的な変化 (H26→H27)	風浪等による局所的侵食がみられるが、一時的・季節的な汀線後退もあるため注視する必要がある。
来年度の対策予定 (H28)	サンドリサイクル、モニタリング (汀線・深淺測量)

- H27年2月に冬季風浪による浜崖が発生 → 国道9号防護のため大型土のう設置 (国交省)
- 長期的には安定傾向であるが、局所的な汀線後退・侵食発生するため、引き続き海岸状況を注視していく。

⑤気高海岸 【目安とする浜幅分析】

説明資料 6-6参照

気高海岸の近年の汀線図



- **利用** … 海水浴場としての利用があり、浜幅には注視が必要
- **防護** … 概ね浜幅は確保されているが、局所的に狭い箇所がみられる。季節変化も大きく、引き続き注視。

⑥青谷海岸 【航空写真】

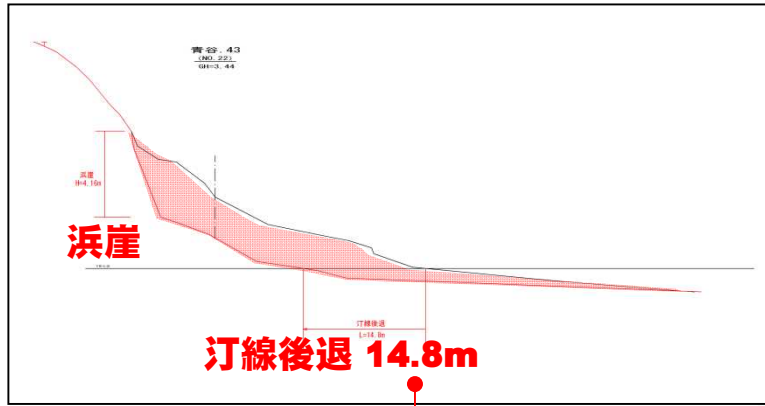
平成27年10月5日撮影 航空写真



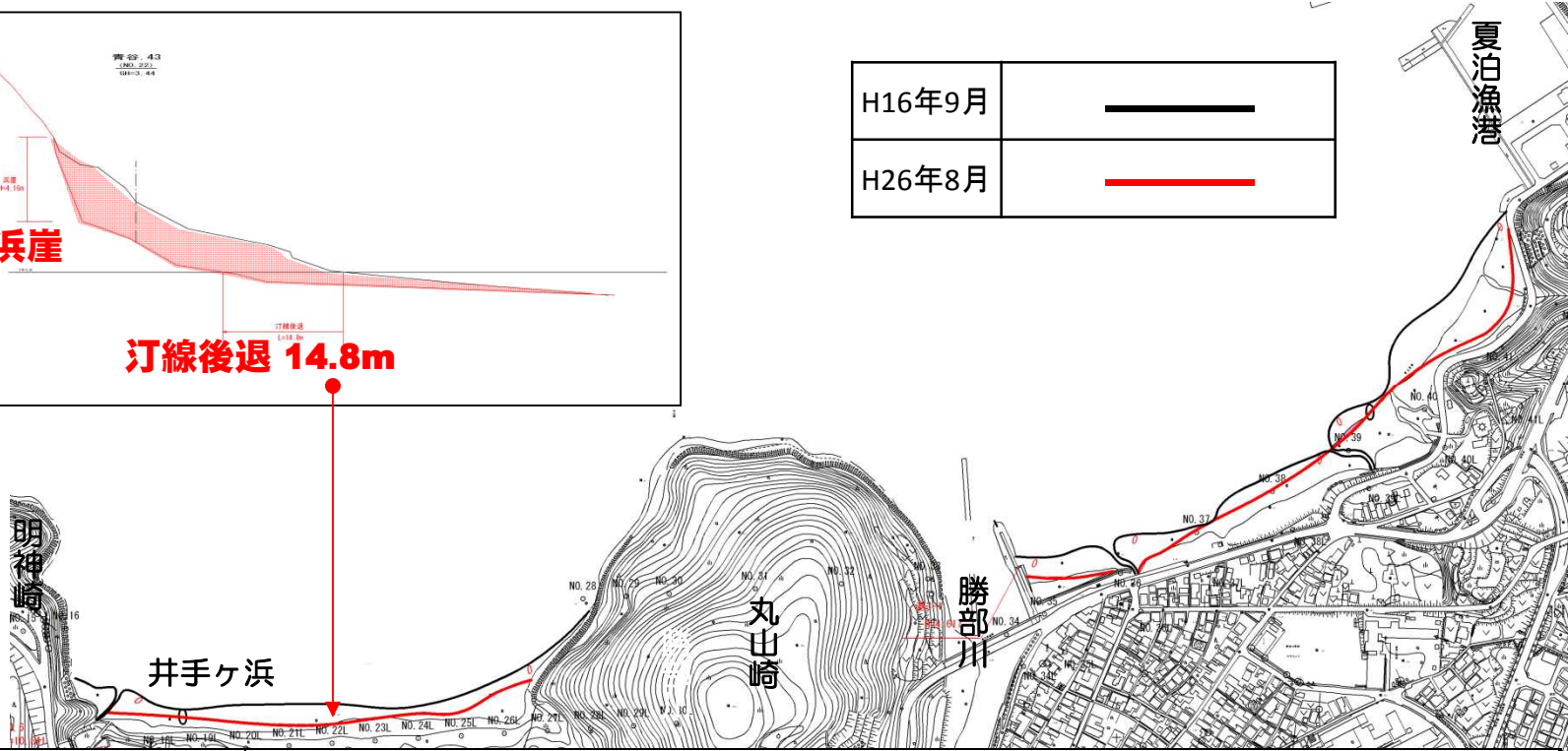
H27年1月6日 撮影

⑥青谷海岸 【評価分析・方針】

説明資料 7-1～7-5参照



H16年9月	—
H26年8月	—



長期的な変化 (H16→H27)	概ね15m程度、汀線後退がみられる。
過年度の対策 (H16→H27)	サンドリサイクル (夏泊漁港、長和瀬漁港、勝部川)
本年度の対策 (H27)	サンドリサイクル (夏泊漁港、長和瀬漁港)、モニタリング、鳴砂調査 (粒径調査等)
短期的な変化 (H26→H27)	冬季風浪により井手ヶ浜海岸にて浜崖発生。
来年度の対策予定 (H28)	サンドリサイクル (漁港、勝部川)、モニタリング、鳴砂調査を引き続きを実施

- H26年12月に冬季風浪 ⇒ 浜崖が発生、階段一部崩壊。
- 当海岸については、「鳴砂」の特性もあることから陸上投入については慎重に対応して行く必要があり、現在周辺の堆積土砂が浜崖対策に適用できるか調査中。